

# あいち 国際プラザ



2023.9 No.157

**AIA** AICHI INTERNATIONAL ASSOCIATION

公益財団法人 愛知県国際交流協会  
ニュースレター



表紙の一枚

SDGs AICHI EXPO 2022の様子

■ 写真の内容については2～3ページの特集「『SDGs AICHI EXPO 2023～多様な力で実現する持続可能な未来～』を開催します」で紹介しています。

## Contents

### 特集 「SDGs AICHI EXPO 2023～多様な力で実現する持続可能な未来～」を開催します…P.2～3

- AIA だより 協会の主催・共催事業などを掲載しています …… P.4～6  
20回目のワールド・コラボ・フェスタ2023を一緒に盛り上げよう！  
「ネパールを知り、ネパール語に触れてみよう！」を開催します  
コミュニティ通訳実習生報告～外国につながりを持つ子ども及び保護者のための教育相談会～  
あいち国際プラザにほん語教室
- あいちでキラリ☆外国人 …… P.6
- Focus on！ …… P.7  
国際交流ステーション 公益財団法人豊川市国際交流協会  
世界の街かどレポート ワルシャワ日本人学校
- ようこそ！愛知のものづくりを支える留学生他 …… P.8

当協会では賛助会員を募集しています。詳細は [愛知県国際交流協会 賛助会員](https://www2.aia.pref.aichi.jp/somu/j/send/boshu.html) で **検索**

<https://www2.aia.pref.aichi.jp/somu/j/send/boshu.html>

# 「SDGs AICHI EXPO 2023 ～多様な力で実現するサステナブルな未来～」を開催します

愛知県では、SDGsに取り組む企業・大学・NPO等の各主体間のコミュニケーションの促進やパートナーシップの構築、SDGsの県内全域への普及・浸透を目的に、日本最大級のSDGs推進フェア「SDGs AICHI EXPO」(主催：SDGs AICHI EXPO 実行委員会(会長 大村知事))を2020年度から開催しており、今年度も「SDGs AICHI EXPO 2023」を開催します。企業等によるブース出展やステージイベント、ワークショップなど、多数の企画を用意していますので、是非ご参加ください。

## 1 日時

10月5日(木)～7日(土) 10:00～17:00

## 2 会場

Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場) 展示ホールA  
(常滑市セントレア5丁目10番1号)



## 3 主な内容

### (1) ステージイベント

10月5日(木)・6日(金)は、テレビコメンテーターの金子恵美氏による「実感できる地方創生に向けて」と題した基調講演や、日本経済新聞社名古屋支社の主催事業である「NIKKEI TOKAI FORUM」を開催するなど、ビジネス層向けのイベントを開催します。

10月7日(土)は、エシカル・ファッションショーや、吉本芸人による「笑って学ぼう! よしもとSDGs ステージ」と題したお笑いステージ、多文化共生に関するトークイベントなどを行い、ファミリーや若者を中心に様々な世代・角度からSDGsの取組を紹介します。

### <ピックアップイベント>

#### 【10月5日(木)】

時間	内容	講演者等
10:05～11:00	基調講演 『実感できる地方創生に向けて』	元衆議院議員・テレビコメンテーター 金子恵美(かねこめぐみ)氏
13:00～14:00	『愛知からはじめる「自然共生×地域活性化」』	環境省中部地方環境事務所、愛知県環境局、生物多様性の専門家、自然共生サイトに取組む企業

#### 【10月6日(金)】

時間	内容	講演者等
10:00～16:00	『NIKKEI TOKAI FORUM』 日本経済新聞社名古屋支社主催	大村知事によるKeynote speechを実施(10:00～10:15)。有識者による講演やSDGsの取組紹介を実施。

#### 【10月7日(土)】

時間	内容	講演者等
11:00～11:45	『外国出身の人たちと共に暮らす「多文化共生」ってどういうこと?』	一般社団法人DIVE.tv(ダイブドットティヴィ) ほか
12:00～12:45	『笑って学ぼう! よしもとSDGs ステージ』	サバンナ八木氏ほか吉本興業株式会社所属芸人

(ステージイベントは本イベント公式サイト(<https://sdgs-aichi.com/>)からオンラインでも視聴できます。)

### (2) ブース出展等

- ・SDGsの取組を積極的に行っている100以上の企業等によるブース出展
- ・楽しくSDGsの理解を深められるワークショップ
- ・会場に設置したスタンプを集める「SDGsスタンプラリー」(記念品あり)
- ・地産地消弁当や、その他の地産地消食品等の販売

## 4 申込・参加方法

参加は無料ですが、公式サイトから事前の入場登録が必要です。詳細は公式サイトをご覧ください。  
(<https://sdgs-aichi.com/>)

## 5 問合せ先

SDGs AICHI EXPO 実行委員会事務局 ((株) 新東通信)  
電話: 052-971-6233 (平日 10:00～17:00) E-mail: [info@sdgs-aichi.com](mailto:info@sdgs-aichi.com)





## 「SDGs AICHI EXPO 2022」の開催状況

2022年10月6日（木）～8日（土）にAichi Sky Expo（愛知県国際展示場）において、「SDGs AICHI EXPO 2022」を開催しました。会場は大変多くの方で賑わい、3日間で合計16,511名の方にご参加いただきました。

### ステージイベント

6日・7日は、SDGsや脱炭素に関する最新の動向・企業戦略などを学ぶ「SDGs経営セミナー」や、日本経済新聞社・日経BPとの共催イベントとなる「日経SDGsフェス in どまんなか」などのビジネス層向けのイベントを行いました。

8日はファミリー層向けに、吉本芸人によるSDGsを題材にしたお笑いステージ、地球環境を学ぶ実験パフォーマンスを行う「サーカス・エコロジカル」などを行いました。

また、中学生・高校生・大学生がSDGsに関する活動や成果を発表する「SDGsユースセッション」を行いました。



▲日経SDGsフェス in どまんなかにおける愛知県知事のKeynote speech



▲SDGsユースセッション

### ブース出展

SDGsに率先して取り組む120の企業・団体がブース出展し、SDGs達成に向けた取組の発信を行いました。出展者同士や来場者と出展者間にコミュニケーションが生まれ、このイベントの目標の一つである「パートナーシップの構築」に寄与しました。

愛知県ブース「あいちSDGs Action Town」では、SDGs達成に向けた本県の取組紹介や、関係団体による活動内容の発表のほか、LEDランプを製作し地球温暖化について考える工作教室などのワークショップを実施し、楽しみながらSDGsについて学んでいただきました。

エンディングセレモニーでは、来場者による投票で選ばれた優秀ブース出展5者を表彰しました。

#### 出展企業・団体数

企業	NPO等	学校等	自治体	合計
43	22	29	26	120



▲本県の取組の紹介（愛知県ブース）



▲優秀ブース表彰



▲ワークショップの様子（愛知県ブース）

### その他の企画

「燃料電池車両の展示・試乗会」「ユネスコスクール交流会」などの事業を同時開催しました。さらに、名古屋グランパスの協力の下、フードライブも実施し、多くの食品を提供していただきました。

## 20 回目のワールド・コラボ・フェスタ 2023 を一緒に盛り上げよう! ▶▶

10月14日(土)・15日(日)に、栄のオアシス21で「ワールド・コラボ・フェスタ」を開催します! 今年は、20回目の開催となり、これまでも増して多くの団体・グループが集まって、イベントを盛り上げていきます。開催まであと1カ月を切り、スタッフ・関係者・参加団体のみなさまも本腰を入れて準備をしているところです!

このフェスタは国際交流・国際協力・多文化共生・SDGsに関する活動をしているNGO、NPOや企業等が集まってつくりあげる中部地区最大級の国際イベントです。世界の歌、ダンスや演奏などの多彩なパフォーマンスやトークショーが繰り広げられる「ワールドステージ」、国際交流や海外とつながりのある活動を実施する団体・グループがそれぞれのブースで活動を紹介するための展示やワークショップ、海外のお菓子や小物などの物品販売を行う「コラボ広場」など、国籍や世代を超えて楽しめるプログラムが展開されます。

各ブースを楽しく回って、クイズに答え、スタンプを集めると抽選に参加できる「スタンプラリー」も行います。最終日のフィナーレには、ちょっとリッチな賞品が当たる抽選会も設けていますので、ぜひ会場に足を運んでご参加ください。

## ◆出展・出演団体へのインタビュー

## ①学び舎つばさ (代表: 上田氏)

私たちは、ベトナムとカンボジアの若者たちに日本語を学ぶ場をつくり、日本語を活かし安定した生活ができるように手助けをしています。2023年は日本とベトナム、外交関係樹立50周年です。学び舎つばさではそれを祝して、舞踊団をベトナムからお招きし、ステージで披露させていただきます! ブースでも団体の活動やベトナムの様子を展示させていただきますので、ぜひお立ち寄りください!

## ②エジプト友の会 (代表: 前田氏)

エジプト友の会は、エジプトのすばらしい文化や歴史を皆様にお伝えしたく日々活動しています。

私たちはこのフェスタがまだオアシス21ではなく、あいち国際プラザで行われていた頃から参加しています。地域に根差した国際交流イベントがこうして長く続いて、本当に嬉しく思います。今回も、ブースではエジプトの文字・衣装体験などでエジプトの文化を紹介し、ステージではベリーダンスと民族舞踊を披露します。エジプトを少しでも感じていただければと思います!

## ③スリヤールワ スリランカ (代表: 服部氏)

私たちは、スマトラ沖地震津波後、復興支援としてスリランカに託児所を建設・運営し、3~4歳児の幼児教育を行うとともに、食料支援をしている団体です。2004年から開催されているこのフェスタには、1回目から参加しています。過去のステージではJICAのスリランカ人研修生6人に参加していただきました。

あの頃、民族舞踊の太鼓と踊りを共に楽しんだ小学生の孫は、もう中学3年生と高校2年生になりました。個性あふれる人々、異文化との出会い、交流、いろいろな学びの場。毎年ワクワクしながらみなさまとの出会いを待ち望んでいます。今年もスリランカのブースでお待ちしています。



▲ 昨年のステージの様子



▲ 昨年のステージの様子



▲ 過去にブース出展したときの様子



## ◆今年のAIAの出し物は…?

わたしたちは、毎年いろいろな国を取り上げて紹介していますが、今年は、建国100周年を迎えるトルコ共和国を紹介します。在名古屋トルコ共和国総領事館のご協力のもと、18もの世界遺産があり、オリエンタルな文化を持つ魅惑のトルコを紹介するステージ出演やブース出展を行います。

愛知県に暮らしているトルコ人は、日本で2番目に多く、身近なところでもトルコ文化に触れる機会が多いかもしれませんが、この機会に、さらにトルコへの理解を深めてみませんか?

トルコへ行ってみたいくなるような楽しい展示やワークショップをご用意して、みなさまのご来場・ご参加をお待ちしています!



## 「ネパールを知り、ネパール語に触れてみよう!」を開催します! ▶▶▶▶

愛知県の在住外国人の数は年々増加傾向にあります。その中でもネパール人は6番目に多く、1万2千人以上\*の方が暮らしています。

この講座では、在日24年になるネパール出身の講師から、ネパールとネパール文化、ネパール語の特徴、基本のあいさつなどを学びます。

ネパール文化に興味のある方、これからネパール語を勉強してみたい方、ぜひご参加ください!

※2022年12月末現在12,844人 在留外国人統計

**開催日時** 令和5年11月22日(水) 13:00～15:00

**定員** 30名(申込多数の場合、抽選)

**場所** あいち国際プラザ2階 アイリスルーム

**参加費** 無料

**申込方法** 下記QRコードから、もしくはEメール・FAXでお申込みください。  
Eメール・FAXの場合は、題名を「ネパールを知り、ネパール語に触れてみよう!受講希望」と記載し、本文に氏名(ふりがな)、電話番号、FAX番号、Eメールアドレスを明記の上、下記申込み先までお申し込みください。

**申込み・問合せ先** 交流共生課 交流共生担当

TEL: 052-961-8746

FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <https://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kishogengo/nepal2023.html>  
(詳しくはウェブサイトをご覧ください。)



▲講師のトゥラダール アスタ氏



こちらからお申し込みください!

## コミュニティ通訳実習生報告～外国につながりを持つ子どもと保護者のための教育相談会～ 愛知県立大学国際文化研究科コミュニティ通訳学コース 猪又菜由実 塚本大地 ▶▶

私たちは、令和4年度に愛知県立大学に開設された「コミュニティ通訳学コース」に所属し、生活の様々な場面でのコミュニケーションや情報へのアクセスに困難を抱える外国人住民の言葉の橋渡しを行うコミュニティ通訳について学んでいます。このたび、コミュニティ通訳実習として、愛知県国際交流協会が開催する教育相談会に向けた配布資料の翻訳や相談会当日の通訳業務に携わり、通訳者の方々の通訳技術や現場の様子について学びました。

同行させていただいたのは、愛知県国際交流協会が8月5日(土)にあま市、あま市教育委員会と共催で行った「外国につながりを持つ子どもと保護者のための教育相談会」です。実習は教育相談会当日を含めた4日間のスケジュールで行われ、私たちは実習生として、講義で使用する資料の多言語翻訳作業(日本語から6言語へ)の補助等や運営補助を担当し、相談会当日には通訳者の方々の様子を近くで見学しました。学術分野においては、通訳者は通訳に徹することが基本とされることが多いですが、相談会の現場では、通訳者の方々が相談者の方々からの質問に応じ、言語的・文化的背景を踏まえた情報提供をするなど、現場の状況に合わせて柔軟に対応されていたことが印象に残っています。実習中には、愛知県国際交流協会とあいち多文化共生センターの事業概要に加えて、多文化ソーシャルワーカーの方から通訳現場での経験についてお話を伺い、様々な観点から通訳についての学びを深めることができました。

4日間の実習を通して、学術分野において、通訳者は通訳に専念することが求められることが多い一方で、現場では、通訳だけではなく、翻訳業務や資料準備等の職員としての業務や、専門的資格がある場合には相談者からの相談への対応、相談内容に応じた他機関への橋渡しなどの役割が期待されていることを知り、通訳に留まらない「通訳者」への現場のニーズを学ぶことができました。また、相談会では、高校生や学生の方々から学校での支援の重要性に関する体験談を伺うことができ、学校や日本語教室等の教育現場においても、言葉の壁を越えて相談することができる体制を構築することの大切さを強く感じました。

4日間の実習を通して、学術分野において、通訳者は通訳に専念することが求められることが多い一方で、現場では、通訳だけではなく、翻訳業務や資料準備等の職員としての業務や、専門的資格がある場合には相談者からの相談への対応、相談内容に応じた他機関への橋渡しなどの役割が期待されていることを知り、通訳に留まらない「通訳者」への現場のニーズを学ぶことができました。また、相談会では、高校生や学生の方々から学校での支援の重要性に関する体験談を伺うことができ、学校や日本語教室等の教育現場においても、言葉の壁を越えて相談することができる体制を構築することの大切さを強く感じました。



## あいち国際プラザにほん語教室



当協会では、外国人県民の日本語学習を支援するため、ボランティアと連携して大人向け日本語教室を開催しています。クラスは5つあり、現在、40名ほどのボランティアが活躍しています。各クラスほぼマンツーマンで、学習者が学びたいことを楽しく学習しています。この教室は、当協会が主催する「日本語ボランティア入門講座」の修了生の実地研修を行う場として開催しています。皆様の周りで、日本語教室をお探しの方がいらっしゃいましたら、ご案内ください。



開催時期	曜日及び時間	費用
第1期 4月～7月	火曜日 13:30～15:00 金曜日 13:30～15:00	各クラス 1期2,000円
第2期 9月～12月	金曜日 19:00～20:30 土曜日 10:30～12:00	
第3期 1月～3月	土曜日 14:00～15:30	



詳しくはこちら



▲金曜日午後クラス 学習の様子

### あいちでキラリ★

### ～愛知で活躍する外国人の方を紹介します～

このコーナーでは愛知県で活躍している外国人の方にインタビューを行い、キラリ★輝いている理由をお聞きます！

株式会社ステライノベーションズ 代表取締役  
マリオ ノンコビックさん（旧ユーゴスラビア出身）



#### ■ マリオさんのことをおしえてください！

私はユーゴスラビア連邦共和国（現・マケドニア共和国）出身ですが、10歳から大学生になるまでイギリスに住んでいたため、何人かと聞かれると難しいです。イギリスで大学入学後に台湾大学に留学しアジアが大好きになり、その後日本にやってきました。

#### ■ 日本ではどのようなお仕事をしていますか

海外と日本の橋渡し役をしています。外国人を雇うとき、ミスマッチにならないように気を付けるべきことを日本の企業に伝えたり、海外の大学とのやり取りを日本企業の代わりに行ったりしています。最近では日本人の人材教育にも力を入れていて、岐阜の大学で講義を行っています。講義の内容は、日本の商品を海外に売り込むための国際ビジネスや、多文化が共存して会社を運営するための異文化経営などです。また、大学院向けのアカデミックイングリッシュ（実践型の英語講座）はとても人気があって、北海道や東京の大学からもオファーがあります。

#### ■ キラリ★輝いている秘訣をおしえてください！

ハングリー精神を忘れないこと！私は常に「これがやりたい、これがおもしろいんじゃないか」と頭の中でずっと考えています。色々やりたいことがあるので時間が足りないぐらいです。いつも忙しくしています。

#### ■ 今後の目標は？

まずは健康第一！忙しく働いているので体が資本です。最近疲れ気味なので（笑）、健康に気を付けていきたいと思います。会社のスタッフと長く一緒に働きたいからです。

日本人もびっくりするほど日本語が堪能なマリオさん。話しているだけで圧倒されてしまうほどのエネルギーを感じました。ここには書ききれないほどの活動をされていて、話は尽きませんでした。今後のご活躍を応援しています！



Focus on!

## 国際交流ステーション

市町村や市町国際交流協会、NGO/NPOなどの活動紹介や最新ニュースをお届けするコーナーです。

## 公益財団法人 豊川市国際交流協会

豊川市国際交流協会（TIA）は1990年4月1日設立、現在668名の個人会員と49の会社等の団体会員で活動しています。

当協会は、市民の皆様にも国際交流、国際親善に理解や関心を持っていただき、またこの地域で生活している外国人と日本人の理解が深まり、お互いが楽しく暮らせるような社会を目指した様々な事業を展開しています。

本協会のビッグイベント「ワールドフェスティバル2023」は、豊川市制施行80周年記念事業として「交流+広がる×アニメ Happy！」のテーマを掲げて開催します。今回は周年事業の目玉として、「国際交流コスプレ大会」を実施することになりました。アニメを通して国際交流に関心を持ち、国籍や民族に拘わらず平等で友好的な共生社会を目指します。初めての試みで、どんなコスプレ大会となるのか、ワクワクしています。

今年4月、本市に東三河初の「イオンモール豊川」がオープンしました。県内では常滑店に次ぐ規模で、毎日大勢の方が来店しています。昨年、事務局担当者が、「イオンモールで、ワールドフェスティバルができればいいね」と話していましたが、費用などの面からとてもできそうもないと諦めていました。が、なんと、ここに来て、市とイオンモールとの協定に基づき、来年の開催が実現しそうです。まだまだハードルは高く、検討することが多々ありますが、



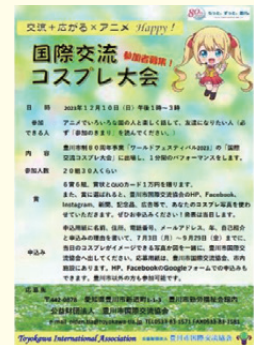
▲事務局スタッフ

一つ一つクリアし、実現したいと願っています。イオンの担当者から「お客さんをどのように集めるかではなく、お客さんが大勢いる中で、どうイベントを催すのかを考えていくことが大事」とアドバイスを受けました。発想の転換が求められています。

2023～2024年は、本協会にとってチャレンジの年となりそうです。アクセルを全開にし、「今までとはちょっと違うぜTIA」を目指します。



▲マスコットキャラクター「とよっぴー」



公益財団法人 豊川市国際交流協会

URL : <https://www.toyokawa-tia.com/>

Focus on!

## 世界の街かどレポート

世界各地で活躍する方々に現地の活動や交流の様子をレポートしていただくコーナーです。

## ポーランド (ワルシャワ日本人学校 乾 健太郎)

ポーランドはヨーロッパの北東に位置する国です。公用語はポーランド語、通貨はズウォティでポーランド独自の文化がたくさん育まれています。2年前にワルシャワで開かれたショパン国際コンクールにて、日本人の反田さん、小林さんがダブル入賞したことは記憶に新しいのではないのでしょうか。

首都ワルシャワは、第二次世界大戦で一度は全て壊されてしまいましたが、その後ポーランド国民の努力により、ほぼ元通りに再建されています。旧市街は「ひび割れ一つまで再現した」と言われており、当時と変わらない様子を見ることができます。

コロナ禍によって、数年間大きなイベントも開かれていみせんでしたが、今年4年ぶりに現地在住邦人による「日本祭り」が開催され、ポーランド全土から約3万人の来場者がありました。日本人学校からは「日本昔遊び」のブースを出展し、折り紙やあやとりなどを、ポーランド語と英語を使いながら小さな子どもたちに伝えることができました。ポーランド人による出店もたくさんあり、ポーランド国内でも、柔道や剣道、茶道などの日本の伝統文化が広く認知され、多くの人の身近にあることを感じました。また、祭りのフィナーレでは、日本人とポーランド人が一緒になって「東京音頭」で盆踊りを踊りました。国境を越えて、心が通い合った、とてもよい祭りとなりました。



▲折り紙を教える日本人学校職員

隣国ウクライナでの戦争は未だ続いており、ポーランド国内にもたくさんの避難民が生活しています。しかし、そんな避難民を受け入れ、一緒に頑張っていこうという気運を、ポーランド国内からはひしひしと感じています。一刻も早く戦争が終わり、平和な日々が再び訪れることを願うばかりです。



▲ワルシャワ旧市街



▲日本祭りにて盆踊りを楽しむ人たち

ようこそ!

## 愛知の ものづくりを支える留学生

愛知県では、2013年度以降、アジア諸国からの大学院レベルの留学生を受け入れ、さらに県内企業への就職を促すことにより、全国一を誇るものづくり産業を支える人材の確保に努めています。このコーナーでは、愛知県の奨学金制度を利用し、県内の大学で学んでいる留学生の皆さんを紹介しています。

名古屋工業大学 大学院 生命応用化学科

ムハンマド アフィフィ ビン イブラヒム さん (マレーシア出身)

### 家族と暮らすために日本へ

日本に来る前はサウジアラビアでオイルとガスのエネルギー会社でエンジニアとして働いていました。その間に結婚しましたが、妻は日本でものづくりを支える留学生として日本の大学院に入学することに。離れて暮らしていましたが、娘が産まれたことをきっかけに一緒に暮らしたいと思うようになり、自分も同じ制度を利用して日本に来ました。

### 日本が大好き

留学前から妻に会いに何度も日本に来ていました。街がきれいで人が優しく、すぐに好きになりました！サウジアラビア以外にもアメリカやスコットランド、コンゴ、ニュージーランドなどに住んでいたことがありますが、日本が一番好きです。これからもずっと日本に住み続けたいと思っています。

### 日本語は難しい!

私はマレー語と英語、フランス語が話せますが、日本語はまだまだ上手に話せません。名工大に日本語学習コースがあるので、そこで勉強したり、通学の電車の中でもアプリで日本語を学んだりしています。研究室には私のほかは日本人しかいないので、彼らに英語を教える代わりに日本語を教えてもらっています。日本のアニメも好きで、マレーシアに住んでいたころは有名なアニメをよく見ていましたし、今も日本語を学ぶためにもアニメを活用しています。

### 将来の夢は?

日本の車関係の会社に就職したいと考えています。今年の秋に愛知県の刈谷市にある車の会社でインターンシップをする予定です。愛知県には素晴らしい会社がたくさんあるので、ぜひその一つで働きたいです。プライベートでは今年の6月に2人目の子供が産まれたので、ますます子育てをがんばらないといけないなと感じています。妻も建築会社で建築デザイナーとして働いているので、協力して子育てをしていきたいです。



▲奥さんが作ったナシレマ

1番好きな日本の料理はうどんです！家の近くにおいしいうどん屋さんがあり、家族でよく行きます。

マレーシア料理はナシレマが好きです。伝統的な料理で、大き目のお皿にココナッツライス、キュウリ、揚げた小魚、豆、ゆで卵、サンバルソース(辛いソース)などがのっています。日本の食材でも作れるので妻がよく作ってくれます。

▲家族でお花見



## 賛助会員募集中!

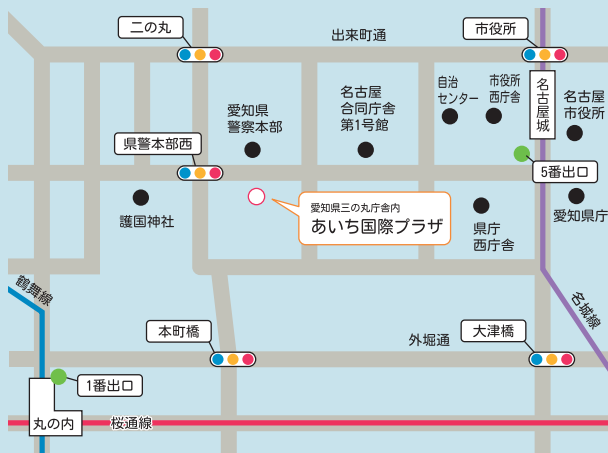
当協会では、県民の皆様に参加していただき、幅広い国際交流を進めるために、賛助会員制度を設けています。皆様のご入会をお待ちしております!

なお、ご支援いただきました賛助会費につきましては、国際交流イベントや講座の開催、多文化共生の地域づくりの推進、国際交流・多文化共生などに関する情報を提供する事業などに活用させていただきます。

**年会費** 個人：3,000円/口 団体：10,000円/口 (会員期間はお申込み翌月より1年間)

**特典** 協会機関誌等による国際交流情報の提供、講座受講料割引、国際交流ハンドブックの贈呈 など

## 協会案内図及び交通案内



地下鉄名城線「名古屋城」駅5番出口より徒歩5分  
地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内」駅1番出口より徒歩10分

## 編集後記

今回、取材した外国人の方々はパワーがみなぎっていて、圧倒されそうでした。私は夏バテ気味でパワー不足ですが、負けなようにがんばらなきゃ!と気合いが入りました。特集やAIAだよりもありますが、10月はイベントが盛りだくさんです。「イベントの秋」を楽しみましょう! (甲村)

## 開館時間案内

**開館時間** 月曜日から土曜日 10:00 ~ 18:00  
(金曜日は10:00 ~ 20:30)

**休館日** 日曜日、祝日、年末年始(12/29 ~ 1/3)

## 編集・発行

令和5年9月15日発行

公益財団法人愛知県国際交流協会

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1 (愛知県三の丸庁舎内)

TEL: 052-961-7903 / 052-961-8744

FAX: 052-961-8045

URL: <https://www2.aia.pref.aichi.jp/>

\*本誌を作成するにあたり、企業・個人の方に取材を通してご協力いただいておりますが、登壇する企業・個人の営業活動の促進を目的とするものではありません。